

ライフケアガーデン熱川

本館看護:山田 亮太(勤続年数 1年6か月)

功 績 ICT・DXを看護業務へ積極的に取り入れ、情報共有の効率化と職員の業務負担軽減を実現。LINE WORKS、介護ソフトの活用方法を工夫し、連絡業務の効率化、情報伝達ミスの削減に取り組むとともに、ChatGPT等の活用を介護課と連携して推進。看護・介護の職種を越えたDXの普及と業務改善に貢献した功績。

推薦者氏名 石居孝幸(事務課)

推薦理由 山田亮太は、看護師としての専門性を発揮するだけでなく、ICT・DXを「現場で誰もが使える仕組み」として定着させることに力を注いでいます。新しい技術を自ら学び、ICTが苦手な職員にも丁寧に伝える姿勢は、周囲の「自分も挑戦してみよう」という意識につながっています。また、介護課への積極的な支援や情報共有など、職種の枠を越えてチームを支える姿勢はOur Teamの考え方を体現しています。専門性の追求と新たな挑戦を業務効率化や職員の安心につなげている点から、本表彰にふさわしい職員として推薦いたします。

内 容

山田亮太は、本館看護職員としてご入居者への看護業務に携わっています。フットワークが軽く、薬剤をはじめとした看護の専門知識も豊富で、入職2年目ながら看護職員から信頼されている存在です。また、新しい知識や技術を積極的に学び、それを自分だけのものにせず、周囲へ分かりやすく伝えています。介護課へのフォローも厚く、見守りシステムaamsの設置位置の検討や、安全対策について看護の視点から助言するなど、介護課を支えています。DX活用の主な実績として、

① LINE WORKSを活用した看護業務の効率化

・状況に応じたグループ作成(受診・リーダーナース、別館ナース連携)による情報伝達の効率化。口頭、電話連絡からLINE WORKSの写真、動画の活用に変更したことで、情報の伝達時間を30分⇒10分に短縮。

・「タスク管理」機能の周知による確認漏れ・伝達ミスの削減

② 紙・ホワイトボード管理からのデジタル化

・ホワイトボードで管理されていた他科受診予定をカレンダーアプリで一元管理し、外出先でも社用スマートフォンから確認できる環境の整備

・介護ソフトの定型文作成(受診記録、回診記録、ショートステイの入居前のバイタルチェック、医療処置、アロマケア等)をしたことで、紙記録をもとにパソコン、タブレットの介護ソフトへ記載していた情報を、タブレットで直接入力できる形に整えた。これにより、情報の記載時間が40分⇒20分に短縮。

③ 看護・介護の枠を越えたDXの普及

・ChatGPTの活用方法を介護課と共有

・TQM活動で導入された仕組み(ご家族に送付する報告書作成のChatGPT 活用)の現場向け改善。介護ソフトで作成した定型文を報告書に反映できるようにした

・新しい介護ソフト導入に向けた継続的な学習

これらの取り組みの先導役として、看護師としての専門性と信頼を基盤に、介護課と協力しながら新しい仕組みを現場へ定着させ、業務効率向上と職員の負担軽減に貢献しています。